

## グローバルな環境マネジメント・システム

環境についての IBM のコーポレート・ポリシーは、あらゆる事業活動において環境保護のリーダーシップを発揮することを求めています。この環境ポリシーの目標は、職場の安全、汚染防止、省エネルギーから始まり、環境のための製品設計、継続的改善、さらには、世界の最も切迫した環境問題のいくつかに取り組む一助として IBM の専門知識を活用することにまで及びます。詳細は、巻末の「環境ポリシー」をご覧ください。

すべての従業員が、このポリシーを遵守し、環境、健康、安全について懸念があれば IBM の管理者に報告することが求められています。管理者は、このポリシーや環境規定に違反する恐れがある場合は、これに迅速に対応しなければなりません。

このポリシーは、IBM の世界中の事業活動を律する環境管理規定によって支えられています。これらの世界共通の管理規定は、汚染防止、化学物質・廃棄物管理、省エネルギーと気候変動の防止、サプライヤーの環境評価、環境配慮製品(プロダクト・スチュワードシップ)、事故の防止・報告などの分野を網羅しています。

### ISO 14001 統合認証

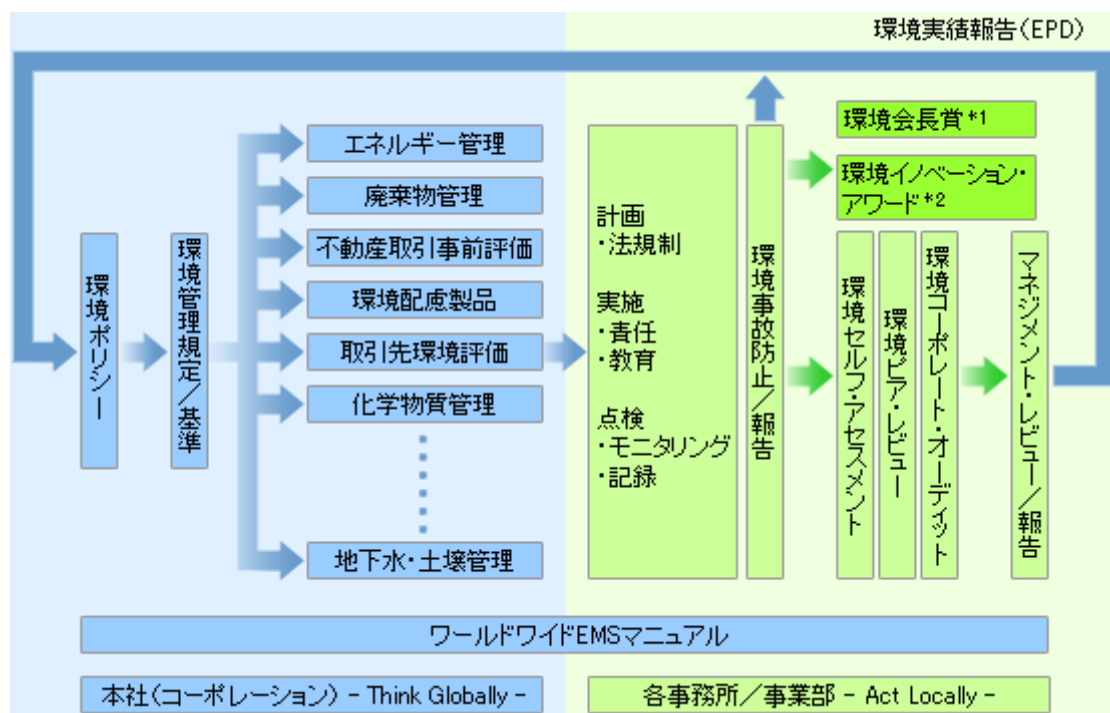
IBM は 1997 年に、グローバル企業としては初めて ISO 14001 環境マネジメント・システム規格の統合認証を取得しました。この認証は、全世界の IBM の事業部門全般における製造、製品設計、ハードウェア開発活動を網羅しています。

その後、化学物質を使用する基礎研究所や、さらには各国の営業・サービス系事業所へも ISO 14001 統合認証の適用範囲を拡大しており、日本 IBM では、製造・開発系として大和事業所が、営業・サービス系として箱崎本社、幕張、大阪、大阪南港の各事業所が ISO 14001 統合認証に含まれています。

また、この統合認証の維持のため、各事業所ではそれぞれ定期的に外部認証機関による維持審査が実施されています。2008 年大和・箱崎事業所および 2009 年 5 月幕張事業所の認証維持審査が行われ、いずれも不適合ゼロで認証が維持されました。2009 年 11 月大阪・大阪南港の両事業所の認証維持審査が予定されており、引き続き認証を維持できるよう活動を行っています。

ビジネス・モデルが進化してサービス・オファリングが増加していくため、IBM は引き続き、環境マネジメント・システム(EMS)を更新して、サービス分野における環境との接点に適切な対応を取っていきます。

## IBM の環境マネジメント・システム (EMS)



\*1: 環境問題への取り組みにリーダーシップを発揮したグローバルな組織に授与される賞(1991年～)

\*2: 環境ポリシー実現のために先進的な取り組みをした個人またはグループに授与される賞(2009年～)